

令和 4 年度  
自己点検・評価報告書

【対象期間】 自：令和 3 年 4 月 1 日

至：令和 4 年 3 月 31 日

令和 4 (2022) 年 4 月

学校法人創心会 西日本看護専門学校

本校では、自己点検・評価について、平成 29 年度まで「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき、自己点検・評価を実施してまいりました。さらに、平成 30 年度からは、より良い自己評価を目指して、看護学校の学校運営としての評価の公表が適切であると判断し、文部科学省で策定された「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、評価項目の改良・拡充を行い、現状・課題の把握並びに改善策の検討・実施を行っております。この自己点検・評価報告書は、令和 3 年度の自己点検・評価の結果を記したものです。

## 1. 学校の教育目標

- 1) 人間を、身体的・精神的・社会的・霊的に統合された、全人的存在として理解する能力を養う。
- 2) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境との相互作用の観点から理解する能力を養う。
- 3) 生命の尊厳と人々の多様な価値観を尊重し、豊かな感性を持ち信頼関係を築く能力を養う。
- 4) 健康や障害のあらゆる状態に応じた看護を、科学的根拠に基づいて実践するための基礎的能力を養う。
- 5) 保健・医療・福祉制度と、多職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともにコーディネーターとしての基礎的能力を養う。
- 6) 専門職業人として社会性・自立性を身につけ、誇りと責任を持ち、自ら学び続ける能力を養う。

## 2. 令和 3 年度に定めた重点的の取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 令和 4 年度開始新カリキュラムの構築
- 2) 入学試験受験者数の増加と新入生確保についての方策と実施
- 3) 学習低迷者の支援と退学者の低減
- 4) 新型感染症予防対策について社会情勢を見据えながらの学習環境、学生生活、行事等の検討
- 5) 新人教員の支援

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### 1. 教育理念・目標

#### (1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

#### (2) 状況および課題と改善策

教育理念に沿った教育目的、教育目標、卒業時の学生像については、学生便覧に明記し、ホームページに公開している。理念に「ひとりひとりを大切に心のこもった看護を実践する」を掲げ、目的を「看護の理論と実践を通して、専門職業人としての看護観を育て、優れた知識・技術に基づいて主体的に責任ある看護活動を行い、看護の発展に寄与できるための基礎的能力を修得する」としている。

毎年、新入生を迎えるにあたって、学生、保護者等に教育理念、目的、目標、卒業時の学生像について説明を行い、また、オープンキャンパスや学校見学会においては、本校の教育についての周知を図っている。

教育目標は、教育理念、目的と一致し、教育内容を網羅したものになっている。また、卒業生像については、教育目標に対応しており、本校の人材育成像がはっきりと読み取れるものになっている。シラバスに教育理念、目的、目標を掲載し、各講義開始時に関連性を説明している。

社会のニーズを踏まえた将来構想については、在宅医療の発展の方向性に対応できる教育内容である。また、学生のレディネスを把握しながら、社会人基礎力を充実していく教育を実施している。

令和4年度からの新カリキュラムでは、多職種との連携強化を図るカリキュラム内容であり、さらに急性期病院以外にも老年看護実習で慢性期・回復期病院での臨地実習が実施可能となった。

令和4年度は、新カリキュラムの実施と調整、令和5年度以降に向けての講義・実習等の準備が課題である。

## II. 学校運営

### (1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

### (2) 状況および課題と改善策

本校は学校法人であり、理事会・評議員会が適切に開催され、学校法人の収支、寄附金の受け入れ、役員・評議員の選任に関する事等、理事会・評議員会にて決定している。

毎月運営会議を開催し、学校運営のすべてを会議にて審議している。教務会議は1週間に1回開催しており、教育に関する内容について協議し、決定している。また、これら会議の運営については、寄附行為及び学則に明記しており、諸規程、学則、細則、内規については、毎年定期的にすべて見直し、整備している。私立学校法の法改正に伴い、令和2年度に寄附行為の見直し及び改正がなされた。

教育活動に関する情報は、本校のホームページにて公開しており、定期的に更新している。

各教職員へのパソコンの貸与と共に定期的なメンテナンスを行い、ネットワーク上に共有フォルダを設け、業務の効率化を図れるよう運用体制を整えている。ただし、学生情報管理システムの構築がされていないのが検討課題である。

## III. 教育活動

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

カリキュラムに関しては、講義・実習すべて教育理念に沿った内容である。理念に沿って看護の心を育てる教育カリキュラムを組んでおり、コミュニケーション技術や人間関係論などの充実、また看護観を育てるといった特色ある内容となっている。講義・実習ともに実践とそのエビデンスが順序立てて学べるよう、カリキュラムは体系的に編成している。

臨地実習においては、あらゆるライフステージにある人々を深く理解できるよう病院や病院以外の様々な実習施設を確保し、実習を組み立てている。看護実践においては、急性期病院での実習が充実している。さらに令和4年度新カリキュラムでは、慢性期・回復期の看護実習の充実を図るよう編成し、多職種との連携強化が図れる実習内容となっている。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、学内での講義・演習の方法を工夫し行った。臨地実習においては、施設や病院との調整をしながら実習を実施したが、臨地実習を実施できない時期、病院等があり、一部は学内実習となった。学内実習においては、臨地実習との相乗効果が図れるよう工夫した。

講義については、外部講師とのスケジュールや講義方法についての調整があったが、日程が大幅に変わることなく適切に終えることができた。また、新型コロナウイルス感染症により欠席となった学生についても、オンラインを活用し、学習支援を行った。

単位認定については基準を定め、運営会議にて認定審議を実施している。実習に関しては、毎年指導者会議を複数回実施し、病院での指導内容や実習における全体的な評価を頂き、その後の実習指導に反映させている。

看護師国家試験に向けての指導体制については、カリキュラム内容（学科・実習）の充実を図るとともに、1年次後半より対策を実施しており、2年次では模擬試験の実施、3年次においては頻回な模擬試験の実施と個別指導や長期休暇期間における集団指導等を実施している。

教員研修に関しては積極的に推奨しているが、令和3年度においては、学内実習の計画及び実施、講義時間の変更、新カリキュラム構築のための頻回な会議等により、教員が多忙をきたし、研修に参加する時間がもてなかった。

令和3年度は教職員の異動が多く、令和4年度に不足者数を起用する予定になっている。また、令和4年度には、専任教員養成講習会に1名参加予定となっている。

令和4年度は新カリキュラム実践と調整、新人教員の教育現場における支援が今後の課題となる。

#### IV. 学修成果

##### (1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

##### (2) 状況および課題と改善策

国家試験の合格率・就職率ともに良好であることから、本校の教育水準は一定の水準に達していると言える。

退学については、その原因を追究し、指導を振り返り、学生の学校生活への指導に活かしており、退学する学生は少しずつではあるが、減少傾向にある。学力が低迷し、退学を決意した学生や新型コロナウイルス感染症予防対策のための休校後、また長期休暇後に登校できなくなった学生もいた。学生間の関係が希薄になったことも影響しているのではないかと推察している。

卒業生の動向については、例年、卒業年の8月にホームカミングデイを開催し、卒業生の近況と就職後の動向を情報収集している。また、卒業生が就職した病院に卒業生の近況について尋ね、情報収集をしている。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、ホームカミングデイを中止せざるをえなかった。卒業後の学修成果については、主たる実習病院での指導者会議において、本校の卒業生の現状を情報収集し、分析した結果を演習等に組み込み、キャリア教育の改善を図っている。

#### V. 学生支援

##### (1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1

学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	②	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	②	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

## (2) 状況および課題と改善策

学生の進路および就職・相談体制・経済的支援・健康管理・課外活動に対する支援等は十分整っている。

進路・就職に関する支援は、ガイダンスの実施、個別面談、面接の指導等を実施している。

相談体制については、面接計画も整っており、必要時には随時面接を実施している。

経済的支援については、奨学金制度や公共職業訓練等の教育訓練、高等教育修学支援新制度などを活用している。なお、アルバイトは禁止し、公的支援給付金を受けられるよう支援を行った。

健康管理については、毎年5月に健康診断を実施し、健康管理について個別指導を実施している。また、インフルエンザ予防接種は学校負担で実施し、健康管理についての支援は、校医と協議しながら行っている。スクールカウンセリング室を開設し、学生の精神的支援を図っている。新型コロナワクチンについて、3回目のワクチンを全学生及び全教職員が接種した。しかし、家族や外部から感染し、コロナ陽性者が発生したが、学校内での感染はなかった。

公的機関のガイドライン等に従い、3密を避けるための授業場所の確保、休憩場所の確保を行い、校医と綿密な連携を取りながら、引き続き学生生活環境の改善に取り組んだ。

課外活動は6つのクラブ活動があり、ストレス発散や学びの場となっているが、令和2年度から活動を中止している。

年間行事である入学式・戴帽式・卒業式は感染予防対策を取りながら実施したが、以外の学校行事について開催することが難しく、単調な学生生活となっており、活動が制限され、楽しみややりがいにつながるような交流ができなかった。これらは、直接的な原因ではないが、退学者の増減にもつながっていると考えられる。今後、学生同士が交流できる場所・内容等、行事に縛られず、活動することを考えていく必要がある。

保護者とは、学生の学習状況や、生活態度等の問題があるときに連携を取っている。また、年1回学生後援会を開催し、情報交換や学校の情報公開に努めているが、令和3年度も書面会議となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、卒業生への支援が十分に行えなかった。

高校・高等専修学校等との連携については、積極的に高校等に出向き、キャリア教育・職業教育の取り組みを行っているが、コロナ禍において令和3年度の活動は十分に行えなかった。

## VI. 教育環境

### (1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

## (2) 状況および課題と改善策

施設・設備・教育備品等については、定期的に点検し修繕、整備している。また、実習施設においては、教育環境について実習先と調整し、環境を整えていただいている。新型コロナウイルス感染症の影響により、学び方の変化が進んでいるため、DVD教材等を整備し、効果的に活用できるよう環境整備を行った。令和2年度にWi-Fi環境を整え、オンライン授業を早期に導入することができた。また、感染症対策における講義・実習の変更に柔軟に対応することができた。

令和3年度は、情報処理室のPCの台数を増やし、全てニューモデルに入替を行った。

防災訓練として、火災訓練を毎年1回実施している。充実した訓練を実施しているのは、火災訓練のため、今後はあらゆる災害を見越した訓練が必要である。令和3年度、既存の危機管理規程を見直し、あらゆる災害に対応した危機管理規程を計画立案した。防災について、教職員へ周知徹底を図る必要がある。

## VII. 学生の受け入れ募集

### (1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	②	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

### (2) 状況および課題と改善策

令和3年度学生募集については、学校見学会と個別学校見学会の実施、ホームページの情報公開、学校案内・学生募集要項の配布、進学相談会の参加を行った。個別学校見学会、入学者選抜に際し、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ実施した。

令和4年度入学者選抜は、受験生の減少により推薦指定校を2校増校し、推薦指定校への学校訪問を実施した。前期一般入学選抜において、例年と比較すると受験者数の減少が見られたため、後期一般入学選抜に向けて高校訪問を実施し、学生募集を募った。しかし、受験者数の増加には至らず、令和5年度入学選抜から、公募推薦入学選抜を実施することとしている。

## VIII. 財務

### (1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1

財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

ホームページに公開の財務諸表のとおり、学校の財政基盤は安定している。今後も学生数の確保を図り、継続して中期的な財政基盤の安定に努めていく。事業年度開始に当たって作成する予算について、教育機器・教材の購入を年間の予算に計上し、計画的・優先的に購入し、予算の編成及び執行は適正に実施している。監査の実施については、私立学校法及び寄附行為に基づき、監事による会計監査が適切に行われている。財務情報は、事務局に決算書類等の帳票を備え付けるとともに、ホームページに公開している。

IX. 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

保健師助産師看護師学校養成所指定規則、専修学校設置基準・看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインの遵守と適正な運営を実施している。また、個人情報保護、ハラスメント防止等、規程を整備し、対策をとっている。

自己評価の実施は、自己点検・自己評価の委員を組織し、毎年実施しており、教職員全員が把握し、周知するよう指導している。自己評価結果については、ホームページに公開している。

X. 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	②	1
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	4	3	②	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

卒業生、医療従事者への図書室の開放、地域の講演等に本校の施設を開放するなど、学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援しているが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、活動することができなかった。

福岡県専任教員養成講習会の講義・演習を引き受け、看護教員の育成に携わっている。コロナ禍において、本校が取り組める社会貢献・地域貢献の在り方を検討したが、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら取り組み、体制を整えることが必要である。